

学校名	山形市立第三小学校 山形市宮町五丁目7番58号 TEL 622-0653 FAX 633-9320	校長	栗野十九男
		研究主任	豊田 博之
研究主題	ともに学び 豊かな生活を創造していく子どもの育成 (5年次)		
学校づくりに関わって	本校では、「子どものための学校」を実現するために、3改革「学校改革」「研究スタイルの改革」「教育活動の改革」を実施している。教育の本質である「教師が子どもと関わること」と「子どものことについてじっくり語り合うこと」を充実させていくための取り組みである。(下図参照) この3改革は、教師自身の力量を高め、子どもたちに確かな生きる力を育んでいくための条件整備と言ってよい。		
子どものための学校を実現するために	これらの条件整備の上に立って、今年度は、さらに目の前にいる子どもたちを深く理解しながら日常の学習や活動を大切に、実際の子どもの姿で語り合っていくことにしている。(教師の意識改革) また、本校では、「主体性」「協働性」「創造性」の3つの柱を指導原理にして全ての領域を貫き、子どもの学校生活を丸抱えにして教育実践にあたることにしている。教師一人ひとりの個性を重視しながらも、本校の教育の向かう鉾先が同じ方向に向くようにするためである。		
	全ての教育活動を、本校の指導原理である3つの柱「主体性」「協働性」「創造性」で貫き、実践と研究を積み重ねていくことで、子どもの学びや育ち・教師の支援の在り方を明らかにしていく。 ～全ての教育活動を通して、子ども一人一人を育てる学校の在り方・教師の在り方を探る研究～		
研究の目的			

研究の内容と方法	【総合的な学習・生活科・生活単元学習】		
	内 容 子どもたちの生活の中から、自ら求めたい課題を見つけ、主体的に追求できる活動の在り方と教師の支援の在り方を探る。		
	方 法		
	(1) 事前検討会（活動に入る前の検討会）を実施し、子どもたちの思いにそった価値ある活動に成り得るかなどについて検討し合う。		
	(2) 各学年の活動についての情報交換会を設定し、子どもの学びや育ち・教師の支援に視点を絞って研修を深める。		
	【教科・道徳】		
	内 容 子どもたちが主体的に学び、友達と関わり合いながら高まっていくことができる学習と教師の支援の在り方を探る。		
	方 法		
	(1) 教科及び単元については個々が選択し、3つの柱をもとにテーマを設定し、1年間を通して研究実践していく。		
	(2) 学年もしくは個々が、授業研究会を主体的に実施する。事後研究会には、できる限り参加するようにし、学びをお互いに共有していくようにする。（全体での事前研究会は持たない）		
	【特別活動】		
	内 容 子どもたちが、自分たちの活動・行事であるという意識のもとに、主体的に取り組み、友達と関わり合い、創造的に活動できる特別活動の在り方と教師の支援の在り方を探る。		
	方 法		
	(1) 各活動及び行事の計画・立案の段階では、3つの柱についてのコンセプトを明らかにし全職員で共通な意識に立てるようにする。（全校児童で活動する行事は、特に大切にする）		
	(2) 活動の過程においては、子どもたちの実態や様子などをもとに、指導・支援についての情報交換を密にして検討していくようにする。		
	(3) 活動が終了した後、3つの柱に沿って振り返り、子どもたちの育ちについて十分に反省し、他領域やその後の活動との関連を図っていくようにする。		
	～ 活動の結果よりも、過程を重視 ～		
	日々の授業を開いて主体的に学んでいく教師集団で在り続けるために、子どもを育てるために、研究協議会を開催		
	*生徒指導・・・教育活動全般を支えるものとして捉え、子どもたちの実態や発達段階を十分に考慮した上で、価値形成できるように努めていく。		
	～ 日常の情報交換を密にしていく ～		
研究の計画	4 月	・研究の組織・研究全体構想・研究計画	平成15年度 研究協議会の予定 第1回 7月 4日（金）13：20～ 通級指導教室の4実践 第2回 10月 2日（木）13：00～ 2年、4年の各学級 第3回 11月11日（火）13：00～ 1年、6年の各学級 第4回 11月28日（金）13：00～ 3年、5年の各学級 第5回 1月29日（木）10：55～ こまくさ学級（特殊学級） *教科・領域、授業者、専任アドバイザー等についての詳細は、各校にお届けしました案内（掲示用）をご覧ください。
	5 月	・専任アドバイザー及び協議会日時の決定 ・総合的な学習等の事前検討会（全学年）	
	6 月	・郡山市立金透小学校視察	
	7 月	・研究全体会（学びの共有）	
	8 月	・学級経営研究会	
	9 月	授業研 並びに 研究協議会	
	10 月		
	11 月		
	12 月	・研究全体会（学びの共有） ・総合情報交換会（学年部）	
	1 月	・研究全体会（今年度のまとめについて）	
	2 月	・研究全体会（学びの共有） ・総合情報交換会（学年部）	
	3 月	・研究全体会（次年度の研究の方向性）	
	*研究推進委員会は、必要に応じて設定していく。 *学年独自に授業研実施の場合は、右の日程以外で計画する。		